

▼図表5 使用済み紙おむつの回収処理における目的

目的（複数回答）	回答した自治体数	
	実施自治体 (14自治体)	検討自治体 (4自治体)
園児別に使用済み紙おむつを分別する保育士の負担軽減	8	3
誤って他の園児の使用済み紙おむつを持ち帰らせてしまうこと等によるトラブル発生防止	2	1
保護者が使用済み紙おむつを持ち帰ることに負担軽減、衛生面への配慮	13	4
近隣の施設のごみ箱等に紙おむつが捨てられることによるトラブル発生防止、衛生面への配慮	0	0
紙おむつのごみ箱等を園児ごとに用意管理しなくすむことによる衛生面への配慮	2	1
特になし	1	0
その他	2	1

・在籍保育園ごとの保護者負担の差異を解消し、統一的な処理方法とするため
・新型コロナウイルス感染症対策としての検討の必要性があるため など

「保護者が使用済み紙おむつを持ち帰ることの負担軽減、衛生面への配慮」「園児別に使用済み紙おむつを分別する保育士の負担軽減」が主な目的として挙げられています。

(4) 事業実施のデメリット

多摩・島しょ地域の自治体が認識または想定する使用済み紙おむつの回収処理のデメリットを聞きました（図表6）。実施自治体には実施後新たに判明したデメリット、検討自治体・未導入自治体には想定されるデメリットを聞いています。

▼図表6 使用済み紙おむつの回収処理におけるデメリット

デメリット（複数回答）	回答した自治体数		
	実施自治体 (14自治体)	検討自治体 (4自治体)	未実施自治体 (20自治体)
保護者から、紙おむつを回収されると健康チェックに使えないとの不満	0	0	3
保護者から、個人情報漏洩が心配との不満	0	0	0
保護者から、保護者の費用負担について、負担が重いと不満	0	0	3
保管場所から回収場所までの運搬が保育士にとって負担	1	2	4
持ち帰りを希望した保護者のための分別作業が残るので、保育士負担軽減にならない	0	2	2
まとめて保管する場所が足りない	1	1	9
まとめて保管する場所から臭いがもれる	2	1	9
回収処理の公費負担について、家庭保育している方と不公平との不満	0	1	4
利用（ニーズ）が少ない	0	0	1
特になし	12	0	3
その他	0	0	2

・実施自治体は実施後新たに判明したデメリットを回答
・検討自治体、未実施自治体は想定されるデメリットを回答

検討自治体・未実施自治体が想定するデメリットとして、「まとめて保管する場所が足りない」「まとめて保管する場所から臭いがもれる」「保管場所から回収場所までの運搬が保育士にとって負担」が多く挙げられています。導入自治体においても新たなデメリットとしてこれら

を認識している自治体もありますが、多くの導入自治体は「特になし」と回答しています。

(5) 使用済み紙おむつの回収処理の目的と課題

アンケートから見える使用済み紙おむつの回収処理の効果と課題をまとめます。

使用済み紙おむつの回収処理は、「保護者が使用済み紙おむつを持ち帰ることの負担軽減、衛生面への配慮」「園児別に使用済み紙おむつを分別する保育士の負担軽減」を目的として実施しています。

一方で、課題として「予算の確保」「保管場所の確保」「保管場所のにおい対策」などが挙げられています。

限られた財源で多様なニーズに答えるために、事業に優先順位（施設整備など保育の量の確保）をつけ、予算を分配していることが読み取ることが出来ます。また、保管時の衛生上の問題や保管場所を確保できないことが実施を妨げる理由であることがわかりました。

3. 実施自治体の状況

本章では既に保育所において使用済み紙おむつの回収処理を実施している自治体が、どのような取組を行っているかを参考として紹介します。

(1) 実施自治体の取組

主に実施自治体の取組として、アンケート結果を紹介します。

▼図表7 使用済み紙おむつの回収処理の開始年度

開始年度	回答した自治体数 実施自治体 (14自治体)
2020年度	3
2019年度	4
2018年度	2
2017年度	0
2016年度	0
2015年度以前	5

自治体のごみ有料化をきっかけとするなど、「2015年度以前」より実施していた自治体が5団体ありました（図表7）。

▼図表8 使用済み紙おむつの回収処理を実施したきっかけ

きっかけ（複数回答）	回答した自治体数
	実施自治体 (14自治体)
首長からの指示	1
庁内の会議・議論	2
保護者からの要望	9
専門家からの提案	0
園長会からの要望	3
保育士からの提案	2
職員（保育士を除く）からの提案	2
議会からの要望	4
その他	3

・市のゴミ有料化に伴い回収を実施
・当初より他のごみと同様に事業ごみとして処理 など

きっかけは「保護者からの要望」が9自治体と多く、次いで「議会からの要望」が4自治体ありました。外部からのニーズが自治体を動かす動機となると言えます（図表8）。

▼図表9 使用済み紙おむつの回収処理の運用方針

運用方針（複数回答）	回答した自治体数
	実施自治体 (14自治体)
自治体で運用ルールを決めている	7
保育所ごとに任せている	8
その他	2

本事業における現場の運用ルールは、「保育所ごとに任せている」「自治体で運用ルールを決めている」がほぼ同数でした。中には公設公営の保育所に関しては自治体が運用ルールを定め、公設民営ならびに私立の保育所は保育所ごとに任せているとの補足もありました（図表9）。

▼図表10 使用済み紙おむつの回収処理の対象

対象（複数回答）	回答した自治体数
	実施自治体 (14自治体)
紙おむつを使用している園児全員	12
紙おむつを使用している園児かつ処理を希望する者のみ	2
その他	1

紙おむつを使用している園児全員を対象としている自治体が多いことがわかりました。実施

自治体の多くでは、使用済み紙おむつの分別作業にかかる手間を無くすことができていると考えられます（図表10）。

▼図表11 使用済み紙おむつの保管場所

保管場所（複数回答）	回答した自治体数
	実施自治体 (14自治体)
保育室内	0
トイレ内	2
ゴミ置き場	11
その他	5

・保育所に任せている など

保管場所は、ゴミ置き場としている回答が多く集まりました（図表11）。

▼図表12 ごみ収集業者による使用済み紙おむつの回収頻度

回収頻度（複数回答）	回答した自治体数
	実施自治体 (14自治体)
週1回	0
週2回	7
週3回	3
週4回	0
週5回	2
週6回	1
週7回	0
その他	3

・公設民営、私立はわからない など

週2回の回収としているところが半数です。市の指定する可燃ごみ収集日に合わせて回収頻度を決めている自治体もありました（図表12）。

▼図表13 保護者の費用負担の有無について

保護者負担（単数回答）	回答した自治体数
	実施自治体 (14自治体)
あり	1
なし	13

▼図表14（参考）検討自治体における、保護者の費用負担の有無について

検討している費用負担（複数回答）	回答した自治体数
	検討自治体 (4自治体)
全額公費負担	2
一部保護者負担	2
全額保護者負担	1
わからない	1
その他	0